



自由民主党 村山博紀 3
教育長に伺う教育現場改善

問給食費徴収、部活動、いじめ対策など教職員の負担軽減や、新聞を活用するN・E教育への取り組みなど、教育現場の改善に関する今後の展望は。

答教育長 教員には、本務である授業、そして社会の動きに合わせた教育の工夫改善が求められており、子どもたちのためにも、教職員の負担軽減を図り、子どもたちと向き合う時間を確保することを一番の課題として捉えている。

今後は、教員の多忙化解消をさらに進めるため、登下校など、子どもの安全に関わることをはじめ、学校や教員だけではできないことについては、市全体、社会全体でさらに協働、協力してもらうことが重要であると考えている。

問教職員の教育現場改善

答都市計画部長 道路の区域を立体的に定め、それ以外の空間利用を可能とする立体道路制度が平成元年に創設され、東京外かく環状道路や環状2号線等において活用され

問高齢者が運動のため遠くの広場に出向くことは負担が大きい。健康寿命延伸のためにも身近な場所の広場整備に道路の上空間を活用してはどうか。

答教育総務部長 地域の歴史・文化に興味を持つ市民が郷土資料の研究に挑戦し、その成果を学校教育の場に生かすことは地域振興に有効である。

問郷土資料のうち絵馬、書画の文化財指定状況を踏まえ、歴史文化継承の学びの促進を本市は今後どのように進めるのかを問う。



自由民主党 中野敏浩 4
稲作の今後の展望について

問稲作の維持には農家の規模の拡大、担い手への支援、大型機械の導入が必要と考えるが、稲作の今後の展望について伺う。

答産産業観光部長 川越市は、田の耕地面積が1890ヘクタールと県内多数の水田地帯で、1経営体当たりの経営耕地面積は、平成17年では0.82ヘクタールであったのに対し、令和2年度には1

・29ヘクタールと規模の拡大が進んでいる。今後、担い手への集積・集約化を積極的に推進することで、農業経営の安定化を図るとともに、多様な機能を持つ水田を維持する地域の人々の活動を支援し、稲作の維持と発展に努めていきたいと考えている。

問稲作の現状と展望



自由民主党 中原秀文 5
中央通り線上空間に広場を

問高年齢者が運動のため遠くの広場に出向くことは負担が大きい。健康寿命延伸のためにも身近な場所の広場整備に道路の上空間を活用してはどうか。

答都市計画部長 道路の区域を立体的に定め、それ以外の空間利用を可能とする立体道路制度が平成元年に創設され、東京外かく環状道路や環状2号線等において活用され

問川越駅西口地区諸課題

答要原副市長 新型コロナウイルス感染症は、日々状況が変化しており、情報を迅速かつ正確に伝えていくことは、大変重要と認識している。また、情報は、伝えたい相手と

問感染症対応は引き続き強化を求めるが、喫緊の課題は情報提供と考える。市民が必要な情報を速やかに受け取れるよう本市はどう取り組むのか伺う。

答市長 山車の基金については、既にあるみんなで支える観光基金を活用する方向性で考えている。



自由民主党 岸啓祐 6
歴史文化継承の学びの促進

問郷土資料のうち絵馬、書画の文化財指定状況を踏まえ、歴史文化継承の学びの促進を本市は今後どのように進めるのかを問う。

問みんなを支える観光基金では不十分なので、今年中止となった川越まつり予算約5500万円を山車修繕基金を設置すべきではないか。

答市長 山車の基金については、既にあるみんなで支える観光基金を活用する方向性で考えている。

問市長のコロナ対策



無所属 真美子 7
新型コロナウイルス感染症の諸課題

問感染症対応は引き続き強化を求めるが、喫緊の課題は情報提供と考える。市民が必要な情報を速やかに受け取れるよう本市はどう取り組むのか伺う。

答市長 山車の基金については、既にあるみんなで支える観光基金を活用する方向性で考えている。

問みんなを支える観光基金では不十分なので、今年中止となった川越まつり予算約5500万円を山車修繕基金を設置すべきではないか。

問市長のコロナ対策

答市長 山車の基金については、既にあるみんなで支える観光基金を活用する方向性で考えている。

問市長のコロナ対策



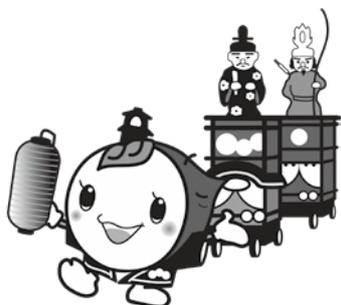
無所属 小林薫 8
山車修繕基金の設置を！

問みんなを支える観光基金では不十分なので、今年中止となった川越まつり予算約5500万円を山車修繕基金を設置すべきではないか。

問市長のコロナ対策

答市長 山車の基金については、既にあるみんなで支える観光基金を活用する方向性で考えている。

問市長のコロナ対策



問市長のコロナ対策